

令和5年10月3日

垂水、佐多出張報告書

氏名： 菊池大希

所属： 名古屋大学・宇宙地球環境研究所/大学院工学研究科 塩川研究室(修士1年)

滞在期間： 令和5年9月28日～令和5年9月30日

滞在先： 垂水、佐多（鹿児島県）

鹿児島県垂水市の上の台地観測点にてフラックスゲート磁力計の交換作業、佐多観測点にて誘導磁力計のためのメインアンプ、プリアンプ、ケーブルの再設置を行った。

上の台地観測点では、はじめに新しい磁力計のテストを行い動作確認してから、z成分の観測が不安定になっていた磁力計と取り換えた。ケーブルは蛇腹パイプを通して重機を使って掘った穴に埋設した。PC小屋にケーブルを通すために新たに穴を開け隙間をパテで埋めた。撤収した磁力計は大学に送り返した。炎天下ではあったが、桜島と鹿児島湾を一望できる絶景の前で計画通り作業を完了することができた。

佐多観測点では私は主にケーブルの交換作業を行った。PC小屋につながる塩ビパイプの直角部分にケーブルの接続部が引っ掛かりケーブルの交換に少々苦戦した。一度パイプの直角部分を全て外すことでケーブルを通すことができた。センサーまでは、本出張に同行した森田さん、五味君、堀田君と共にシャベル、つるはしで土を掘り起こしケーブルを蛇腹パイプに入れて埋設した。

本出張を通して得られた磁力計などの機器の取り扱いやケーブル埋設といった現場作業の知見を自身の研究活動にも生かしていきたい。



図1 重機を使ったケーブル敷設



図2 みんなで掘ったケーブル敷設